



# 環境リスクPress

2015年10月発行／VOL.2

## アスベスト関連ニュース 2015年9月17日

## 土壌汚染対策の基礎知識

### アスベスト、建材運搬時に飛散か 住民説明会で秋田市が報告

秋田市山王3丁目の旧商業ビル解体工事現場周辺で通常の90倍近い濃度のアスベスト(石綿)が飛散した問題で、市は16日、石綿を含む建材(廃石綿)を運ぶ際に飛散した可能性があるとの見方を示した。同日開いた住民説明会で報告した。

市の担当者は、廃石綿を詰めた袋を地下の機械室から2階の保管場所に運ぶ際、袋の外側に付着した石綿が飛散した可能性があるとして説明。説明会に出席した業者は、袋の外側を掃除機で吸引する対策などを講じるとし、住民に陳謝した。

ビルは7階建てで、機械室など5カ所で石綿が使われていた。

(参照:さきがけon the WEB)

### 超過事例の多い有害物質とは！？

土壌汚染の有害物質超過事例として多いものをご存知でしょうか？平成24年の環境省のデータによると、超過事例1位は「鉛及びその化合物」で、その後「ふっ素」「砒素」と続きます。この結果から、超過の多くが、第二種特定有害物質ということが分かります。

第二種特定有害物質は自然界に存在するものでもあるため、必ずしも「悪」とは言えませんが、汚染という点においては注意が必要です。

特定有害物質	超過件数
鉛及びその化合物	419
ふっ素及びその化合物	221
砒素及びその化合物	176
六価クロム化合物	90
水銀及びその化合物	57
テトラクロロエチレン	48
トリクロロエチレン	47
その他	230
合計	1,288

## 最新トピックス

### アスベックス工法(建設技術審査証明取得)による安心、安全施工を心がけています！

審査証明番号: BL 審査証明-004  
吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術「アスベックス工法(除去工法)」



アスベックス(株)では、アスベックス工法の特徴は、除去工事箇所の事前調査から、除去工程、除去したアスベスト等の処理及び廃棄処分までの全ての工程において法令に則った安全な工法であることです。作業場内を常時負圧に保つため、通常は4回/時間以上の換気回数が求められるのに対し、換気回数を5回/時間以上確保することで、作業場内で発生した粉じんをすばやく捕集します。また、通常の測定回数よりも多く環境測定を行うことで、近隣住民への責任配慮を徹底しています。安心、安全をモットーにお客様にそして環境にも配慮したサービスを今後もお届けしていきます。

